

ENIGMA

GROM/MSX125 (~2015 プロジェクターヘッドライトモデル) 取り付け、接続方法
(EBJ-JC61 1000001~1299999)

※2016 以降の新型 GROM (LED ライトモデル) との接続につきましては、
別項の 2016 以降 GROM 専用のマニュアルをご覧ください

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。ENIGMA 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません) 作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

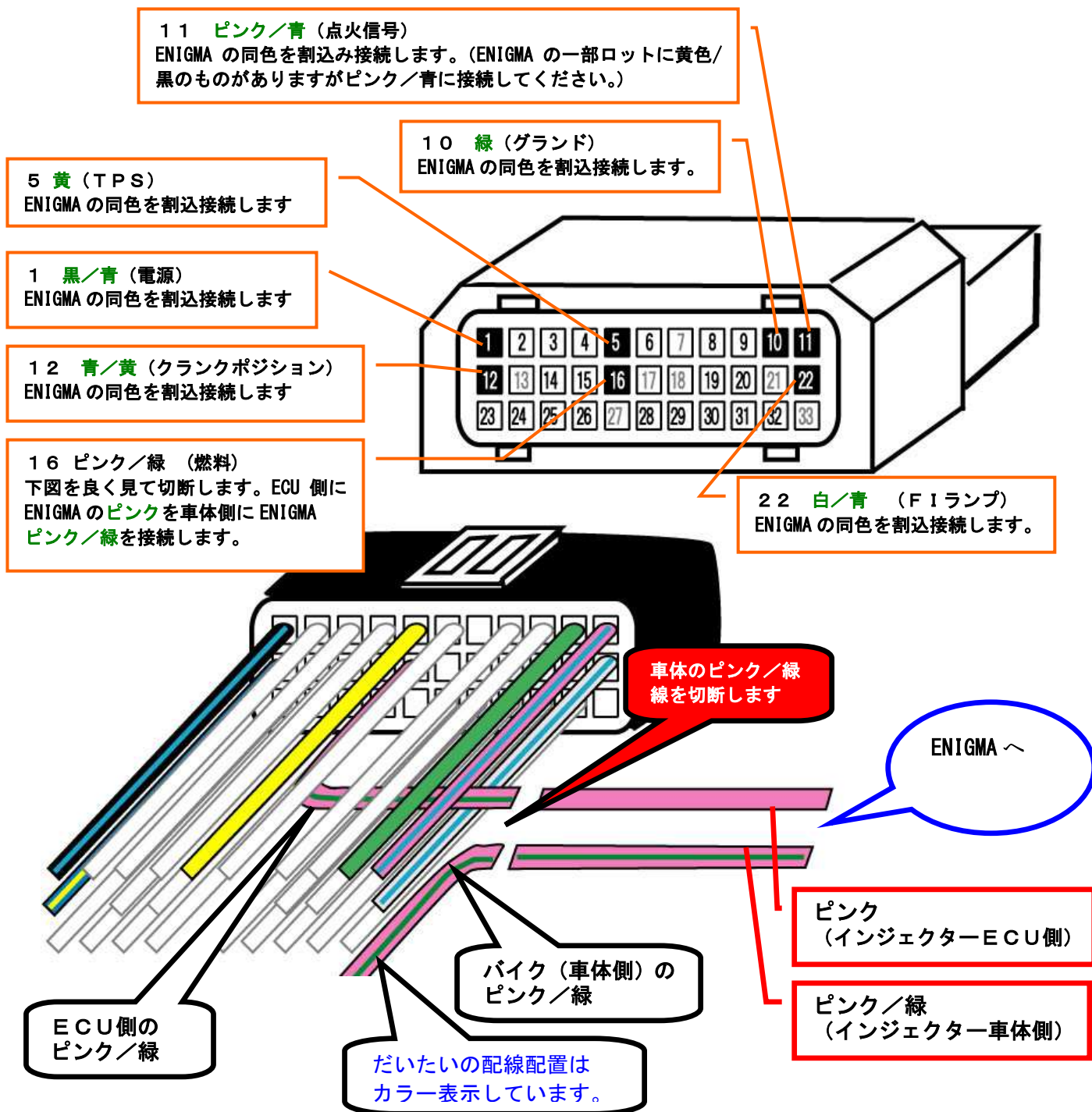
取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的な GROM/MSX125 の整備知識が必要です。ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側に ECU が有ります。まず、シートを外し、ガソリタンクサイドカバー (左側) を取り外します。その後シートサイドカバーを取り外すと ECU が斜めにゴムマウントされています。ECU に繋がっているカプラーを外し配線を加工して ENIGMA を割り込みさせて下さい。ENIGMA は近くに水に濡れないよう取り付けてください。

カプラー側の配線に ENIGMA 配線を **割り込み接続** します。

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)
割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く ENIGMA の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA から接続する配線は全部で 8 本です。
ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
白線はピットレーンリミッタスイッチ用なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。
- ※ ECU の 16 番端子 (ピンク/緑) へ接続されている線 (インジェクターへの信号) を切断して、ENIGMA からの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU 側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9 番端子と 10 番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ 本体に直接水がかからないようにして下さい。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置して下さい。

- 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU端子で繋ぐのは1、5、10、11、12、16、22の7箇所です。上図で良くご確認下さい。
- ENIGMA から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。使用方法はこのマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA はクランク 1 回転に 1 回、5V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※GROM/MSX125 ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や GROM 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

ENIGMA Type-P

GROM/MSX125 (~2015 プロジェクターヘッドライトモデル) 取り付け、接続方法
(EBJ-JC61 1000001~1299999)

※2016 以降の新型 GROM(LEDライトモデル)との接続につきましては、
別項の 2016 以降 GROM 専用のマニュアルをご覧ください

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA のカプラーと接続してください。ENIGMA 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません)作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なGROM/MSX125の整備知識が必要です。
ノーマル車両には車両に乗った状態で左側、シートサイドカバーの内側に ECU が有ります。
まず、シートを外し、ガソリタンクサイドカバー(左側)を取り外します。
その後シートサイドカバーを取り外すと ECU が斜めにゴムマウントされています。
ECU に繋がっているカプラーを外し配線を加工して ENIGMA Type-P を割り込みさせて下さい。
ENIGMA Type-P は近くに水に濡れないよう取り付けてください。

カプラー側の配線に ENIGMA Type-P 配線を **割り込み接続**します。

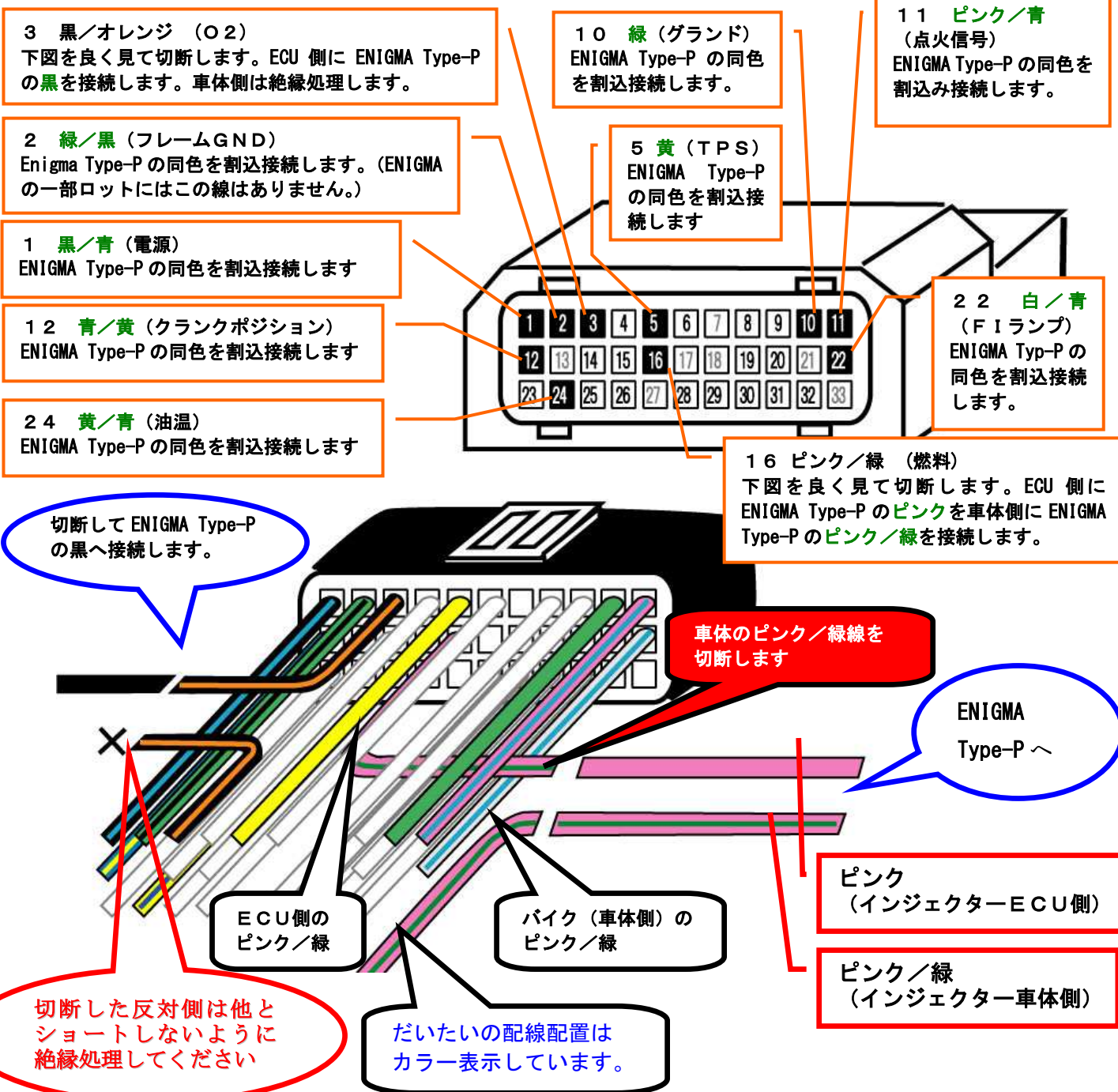
(**割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です**)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く ENIGMA Type-P の動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的に ENIGMA Type-P から出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。
ENIGMA Type-P から接続する配線は全部で 11 本です。
ムラサキ線はサービス出力線なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。
白線はピットレーンリミッタスイッチ用なので ECU には繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。

- ※ ECU の 16 番端子(ピンク/緑)へ接続されている線(インジェクターへの信号)を切断して、ENIGMA Type-P からの配線で、バイク車体側にピンク/緑線を接続、ECU 側にピンク線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 9 番端子と 10 番端子はどちらも緑線です。ご注意下さい。
- ※ ECU の 3 番端子(黒/オレンジ)へ接続されている線(O2 センサーからの信号)を切断して、ENIGMA Type-P の黒線と ECU 側を接続してください。
切断した車体側は他の線やフレームとショートしないよう絶縁処理してください。O2 リプレイサー機能を使用しない場合は、バイクの配線を切断せず、ENIGMA type-P から出ている黒線を絶縁処理してください。
- ※ ENIGMA からボディアース(フレーム GND)へ接続する緑/黒線がある場合、この線をバッテリーのマイナス側かバイクのフレームに直接配線するか、ECU の 2 番端子(緑/黒線)へ接続してください。ECU の 9 番、10 番端子(緑線)には接続しないでください。ENIGMA の一部のロットにはこの線はありません。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元から水が入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

● 下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。



- ECU 端子で繋ぐのは1、2、3、5、10、11、12、16、22、24の10箇所です。上図で良くご確認ください。
- ENIGMA Type-P から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。使用方法はこのマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA Type-P はクランク 1 回転に 1 回、5 V を出力します。市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホで ENIGMA Type-P 操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC 用 ENIGMA 専用ソフトは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS 用アプリ、Android アプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。

<http://www.dilts-japan.com>

※GROM/MSX125 ENIGMA 専用ソフト(アプリ)をお使いください。ENIGMA 用は type-P にも対応します。他のバイク専用の ENIGMA ソフト(アプリ)や GROM 用の FirePlus 専用のソフト(アプリ)は EASY モード/PRO モード共接続できません。

ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMAから出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意下さい。

設置が終わったらENIGMAの白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子がありますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違っただけでプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**